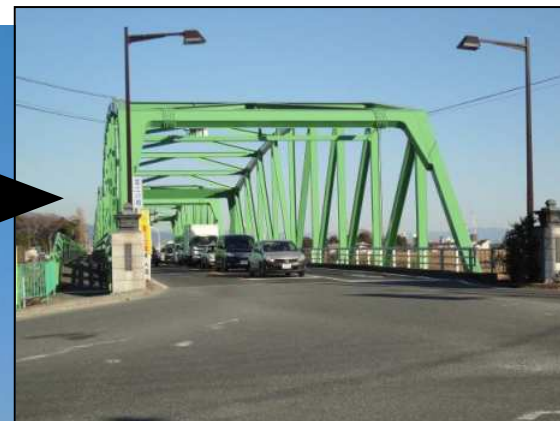


橋梁の長寿命化への取組



塗替えて、長寿命化



(一)富士由比線 富士川橋(富士市)
大正13年建設【建設後90年経過】

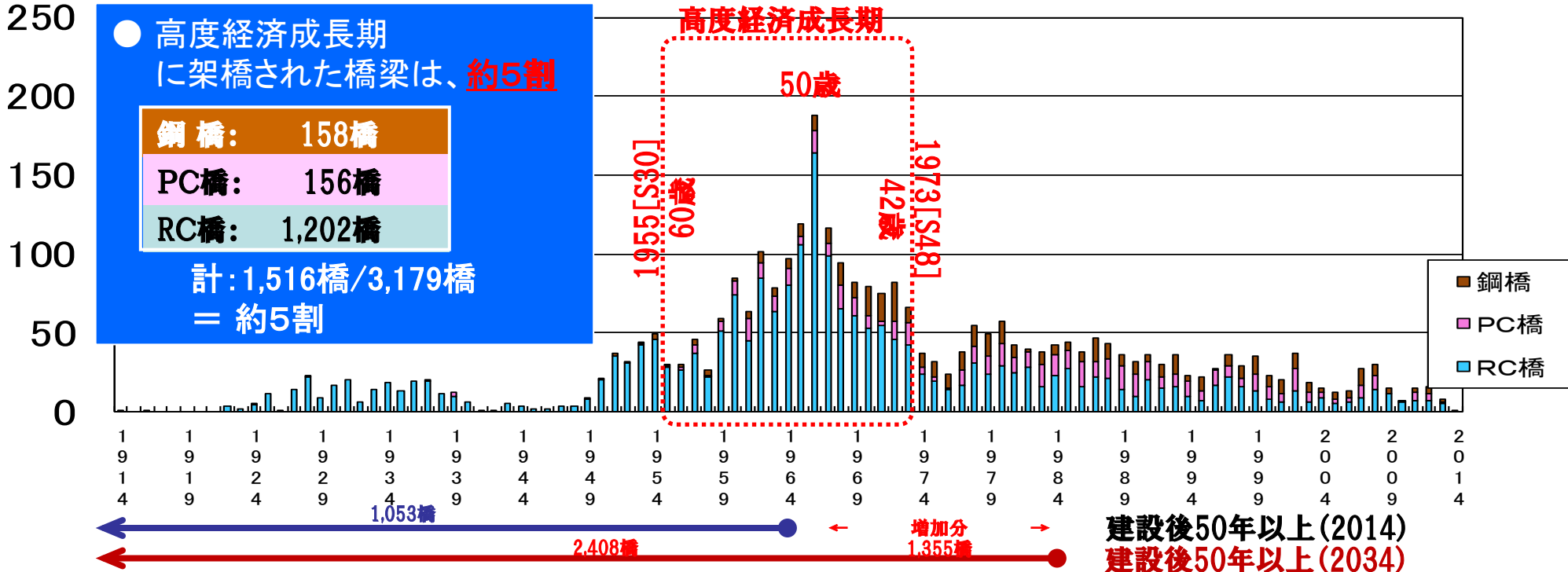
平成27年3月11日

○ 静岡県の実管理橋梁 3,179橋

平成26年4月1日時点

橋梁数

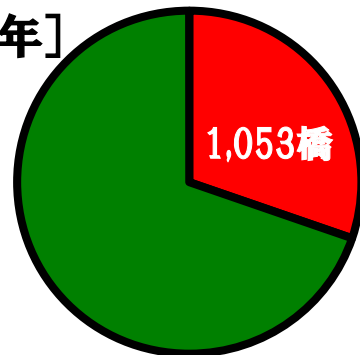
< 建設年次別の橋梁数 >



< 建設後50年以上の橋梁数 >

2014年[平成26年]

33%

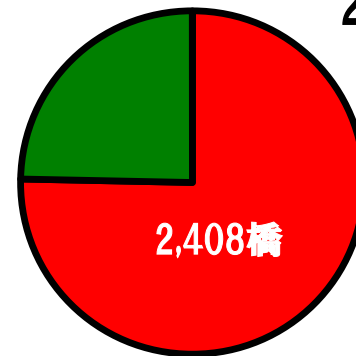


20年後には...



2034年[平成46年]

76%



1 点検

橋の損傷を見つける

- 県管理全橋(3,179橋)を対象に、
5年に1回、近接目視点検を実施 → 3巡目の点検実施中



2 管理計画策定

予防保全型の長寿命化計画を策定する

■ 計画のポイント

- ・計画的に補修し、橋の寿命を長くする

*** 従来: 損傷がひどくなったら、大規模修繕<対処療法型>**

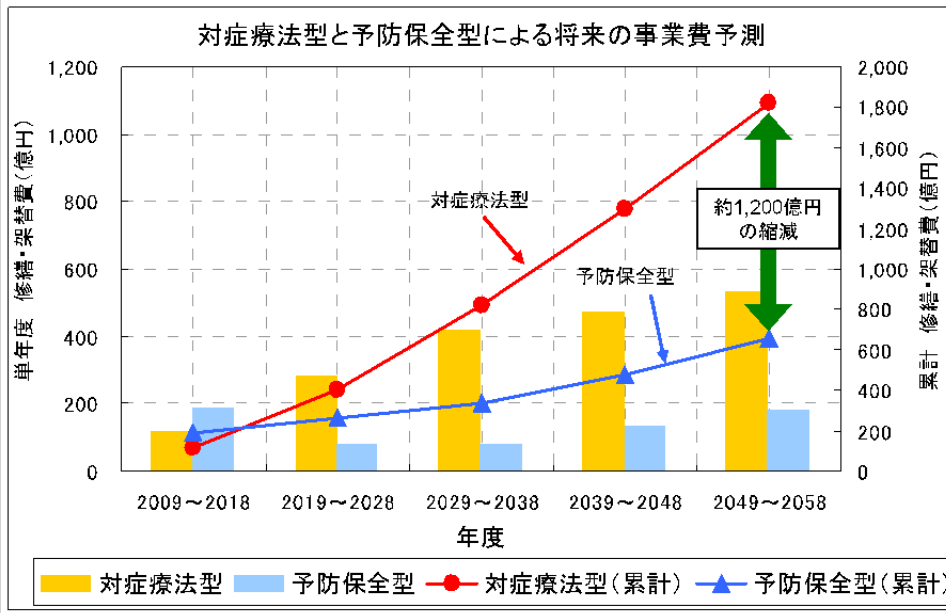
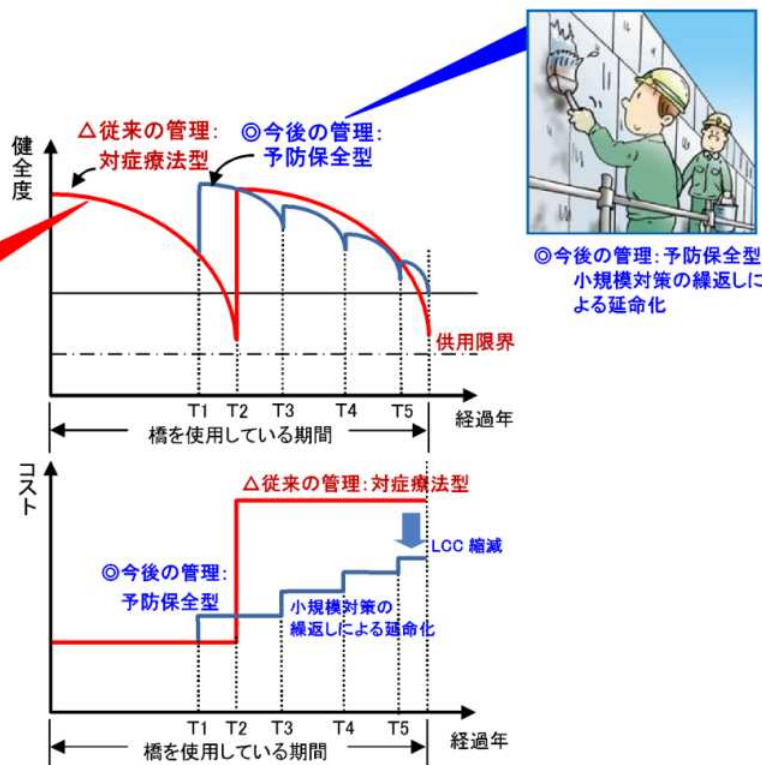
*** 今後: 損傷がひどくなる前に、計画的にメンテナンス(補修)を行い、長寿命化<予防保全型>**

■ 計画の効果

- ・計画的なメンテナンスは、大規模修繕を抑制し、多額のコスト縮減が実現

**<今後: 予防保全型>のコスト と
<従来: 対処療法型>のコスト との差
約1,200億円**

(対象: 管理上重要な橋梁)



3 事業実施

損傷の特にひどい橋を緊急的に補修

■ 管理上重要な橋梁のうち、
特に損傷の著しい橋梁(107橋/3,179橋)について、
主要部材の補修など緊急的な補修を行う。

* H22～H28の7年間で実施

* 107橋の緊急補修により、管理上重要な橋梁はすべて健全な(=予防保全管理が可能な)状態となる

「予防保全管理」を開始！

■ 補修の例



塗替塗装実施

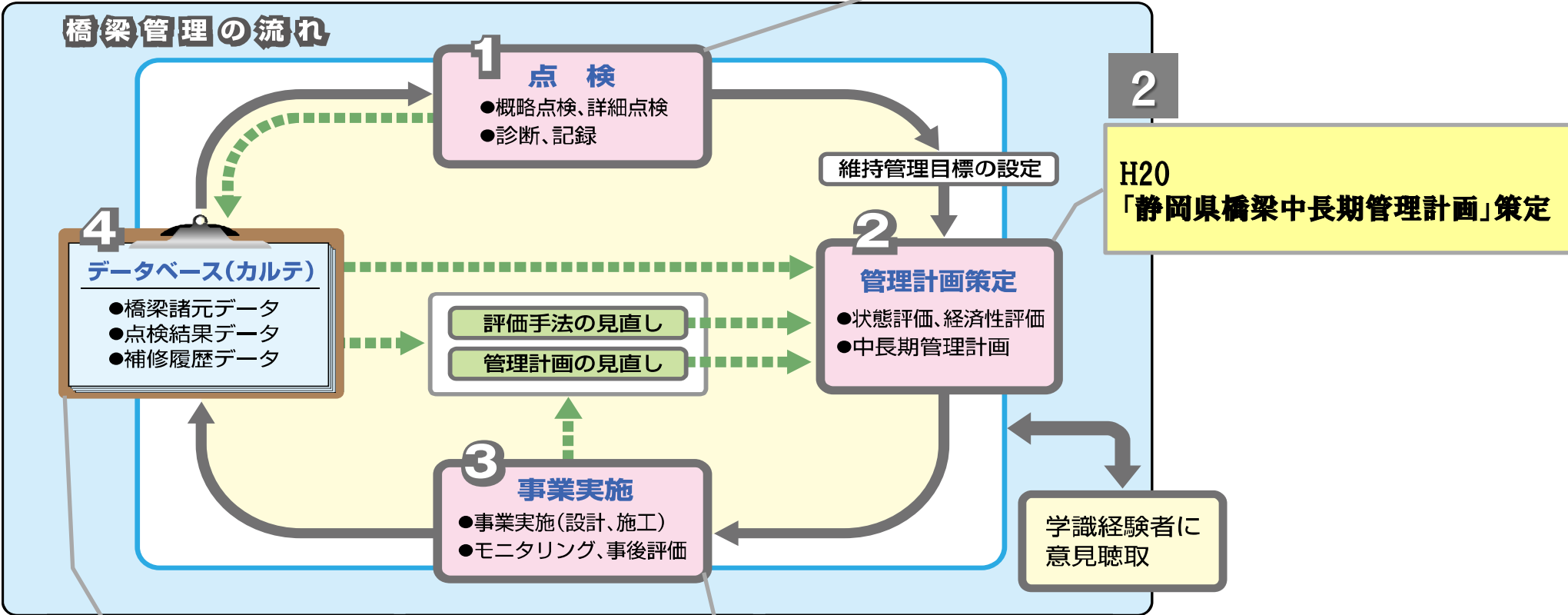


○ 長寿命化への取組

マネジメントサイクルを回す

■ H16策定の「橋梁ガイドライン」に基づき、マネジメントサイクルを回し、長寿命化を実行

1
H17~H19 橋梁点検(1巡目)
H22~H25 橋梁点検(2巡目)
H26~H30 橋梁点検(3巡目)



2
H20
「静岡県橋梁中長期管理計画」策定

4
H17
橋梁データベース構築

3
【管理上重要な橋梁】
H22~H28
「道路施設長寿命化緊急対策」実施
+
【管理上重要な橋梁以外】
必要に応じて補修を実施